

令和4年12月22日

淀川舟運活性化協議会 構成員 各位

淀川舟運活性化協議会
会長(近畿地方整備局長)

第2回淀川舟運活性化協議会(書面)について(協議)

淀川舟運活性化の取り組みについて、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年大阪・関西万博の開催を契機として、この取り組みをさらに加速させるべく、これまでの議論をふまえ「万博までの具体的な目標設定」や「舟運活性化プロジェクト」等を「淀川舟運活性化協議会中間とりまとめ(案)」としてとりまとめました。

つきましては、本案について書面により協議させていただきますので、令和4年12月26日までにご回答を頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 協議事項(別紙1参照)

「淀川舟運活性化協議会中間とりまとめ(案)」

*協議が整ったうえで公表を予定(リリース資料(案)は別紙2を参照)

2. 報告事項(別紙3参照)

・実証試験等のこれまでの取り組み

3. その他

ご回答の期限 令和4年12月26日(月)

問合せ先

協議会事務局(近畿地方整備局 河川部)

担当:北川 kitagawa-s25q@mlit.go.jp

平山 hirayama-t86yv@mlit.go.jp

電話 06-6942-1141(内線 3619・3648)

淀川舟運活性化協議会 中間とりまとめ (案)

1. 2025 年大阪・関西万博までの具体的な目標

万博の開催を契機として、舟運を核とした淀川沿川地域のにぎわいづくりのため、定期観光船の就航や沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化、これを支えるハードの整備等、以下の4項目を目標とする。

(1) 沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化

自治体と舟運事業者が連携した淀川沿川地域の魅力発信

イベントや社会実験の開催等を通じた観光コンテンツの開発・商品化

(2) 「かわまちづくり計画」の登録箇所数増加

登録に伴う周辺整備・事業者の誘致等により、沿川のにぎわいを創出

(3) 船舶航行のための航路確保等

大阪市内～枚方・高槻間：大型船の安全な就航

枚方・高槻～伏見間：中型船の安全な就航

伏見～宇治間：水上アクティビティの安全な実施

※大型船：総トン数20t程度以上の船舶、中型船：総トン数20t程度未満の船舶

※水上アクティビティ：カヌーやEボート等による水面利用

(4) 淀川河口部での川船、海船の円滑な乗り継ぎ

淀川大堰閘門を活用した万博会場までの航行ルート確保を含む

2. 淀川沿川一体となったかわまちづくり

万博までの具体的な目標及びその後の持続的な舟運振興策を実現させるプロジェクトとして、各拠点において、舟運を核としたにぎわいづくり・まちづくりに向けた「かわまちづくり」に取り組むとともに、船着き場・航路確保・淀川大堰閘門等のハード整備や施設の活用方法のとりまとめ、淀川沿川全体で相乗効果を発揮する一体的なかわまちづくりを推進する。

また、持続的な舟運振興策を舟運事業者と連携を深めるとともに、淀川沿川地域の魅力発信、舟運を活用した社会実験やイベント等を展開することにより、淀川沿川の各地区のかわまちづくりにおける継続的なにぎわいづくりを進める。

3. 淀川沿川かわまちづくりネットワーク（仮称）

各地区のかわまちづくりは、淀川舟運を核とした淀川沿川のにぎわいづくりとして連携し、本協議会構成員と各地区でかわまちづくりの推進主体となるかわまちづくり協議会（以下、「個別協議会」という。）の構成員が議論を深める必要がある。

一方、本協議会のワーキンググループには個別協議会における民間事業者等の構成員が含まれない場合がある。

そのため、個別協議会の構成員等が参画できる場として、協議会規約第6条に基づくワーキンググループに、本協議会の構成員以外の者も参画し議論を深めることとし、その場を「淀川沿川かわまちづくりネットワーク（仮称）」と呼称する。

なお、かわまちづくり計画の登録申請は取り組みの内容が整った拠点から順次行い、第一弾の登録申請は来年5月を目指す。（第一弾の登録にあたっては、年内を目処として取り組みの骨子を打ち出す。）

- 各地区のかわまちづくりは、淀川舟運を核とした淀川沿川のにぎわいづくりとして連携し、本協議会構成員と各地区でかわまちづくりの推進主体となるかわまちづくり協議会(以下、「個別協議会」という。)の構成員が議論を深める必要がある。
- 本協議会のワーキンググループには個別協議会における民間事業者等の構成員が含まれない場合がある。
- そのため、個別協議会の構成員が参画できる場として、協議会規約第6条に基づくワーキンググループに、本協議会の構成員以外の者も参画し議論を深めることとし、この場を「淀川沿川かわまちづくりネットワーク(仮称)」と呼称する。

淀川舟運活性化協議会

ワーキンググループ(規約第6条)

【構成員】

近畿地方整備局
近畿運輸局
大阪府、京都府
大阪市、高槻市、守口市、枚方市、
寝屋川市、摂津市、島本町、京都市、
宇治市、八幡市、久御山町

(公社)関西経済連合会
大阪商工会議所
水都大阪コンソーシアム
(特非)大阪水上安全協会
京阪ホールディングス(株)
阪急電鉄(株)

〇〇かわまちづくり
協議会
【構成員】

〇〇市
〇〇商工会議所

〇〇商店会
〇〇〇

:

〇〇かわまちづくり
協議会
【構成員】

〇〇町
〇〇〇

NPO〇〇
(株)〇〇

:

〇〇かわまちづくり
協議会
【構成員】

〇〇市

〇〇商店会
(社)〇〇

:

青字:本協議会WGの構成員 黒字:本協議会構成員以外の者

淀川沿川かわまちづくりネットワーク

(案)

令和4年12月●●日14時00分

淀川舟運活性化協議会

淀川舟運を核とした沿川地域のにぎわいづくり・まちづくりを加速します。

～第2回淀川舟運活性化協議会において、2025年大阪・関西万博までの具体的な目標などをとりまとめ～

淀川舟運活性化協議会※は、第2回協議会（書面開催）において、2025年大阪・関西万博までの具体的な目標などを以下のとおりとりまとめました。

今後、このとりまとめをふまえ、関係機関が連携して淀川舟運を核とした沿川地域のにぎわいづくり・まちづくりを加速していきます。

※ 淀川舟運活性化協議会

2025年大阪・関西万博を淀川舟運の復活による淀川沿川地域の魅力を世界に発信していく絶好の機会ととらえ、淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを推進すべく、近畿地方整備局・近畿運輸局・淀川沿川自治体・経済団体・鉄道事業者等で構成し、2022年3月に設立

（とりまとめのポイント）

○ 2025大阪・関西万博までの具体的な目標

- （1）沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化
- （2）「かわまちづくり計画」の登録箇所数増加
- （3）船舶航行のための航路確保等

大阪市内～枚方・高槻間：大型船の安全な就航

枚方・高槻～伏見間：中型船の安全な就航

伏見～宇治間：水上アクティビティの安全な実施

- （4）淀川河口部での川船、海船の円滑な乗り継ぎ

○ 「淀川沿川一体となったかわまちづくりの推進」及び「『淀川沿川かわまちづくりネットワーク』による連携体制の構築」

<配布場所> 近畿建設記者クラブ・大手前記者クラブ・海事関係業界プレス・大阪府政記者会・京都府政記者クラブ・大阪市政記者クラブ・北摂記者クラブ・枚方記者クラブ・京都市政記者室・宇治日刊記者クラブ・八幡市政記者会

<問合せ先>

淀川舟運活性化協議会 事務局（近畿地方整備局河川部内）

きたがわ しんいち
北川 眞一

電話：06-6942-1141（内線：3619）

淀川舟運の取り組みを
ぜひご覧ください！



～淀川舟運の更なる活性化を促進～

近畿地方整備局は、沿川自治体等の要望をふまえ、2025年大阪・関西万博までの完成を目指し、淀川大堰閘門の整備に今年度着手したところです。淀川河口から京都までを一気通貫の航路で結ぶことが可能となる淀川大堰閘門の完成は、舟運復活に向けた大きな一手となります。

国内外から多くの観光客の来場が見込まれる万博の開催は、淀川舟運の復活による「水都・大阪」をはじめとする沿川地域の魅力を世界に発信していく絶好の機会です。

そこで、淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを関係者が協議・連携して推進すべく、淀川舟運活性化協議会を新たに設立・開催しました。今回は協議会の設立にあたり、淀川舟運の現状についての共有・意見交換を行いました。

出席者からは淀川舟運の復活に向けての期待や地域のにぎわいづくりへの意気込み等について意見が出されました。今後、WG等で具体的な検討や取り組みを進めて参ります。

協議会の概要

○目的

2025年大阪・関西万博を契機に、淀川舟運の復活により「水都・大阪」及び京都府域を含む淀川沿川地域の魅力を世界に発信すべく、関係者が協議・連携・検討し、淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを推進すること

○協議・検討等事項

- ・万博までの具体的な目標設定
- ・淀川大堰閘門等施設の活用方法
- ・舟運活性化プロジェクト
- ・持続的な舟運振興策
- ・その他淀川舟運の活性化に必要な事項

議事概要

○日 時 令和4年3月23日(水) 10～11時

○場 所 国民會館12階 ※WEB併用

○出席者 右記のとおり

○議事次第

- ・開会挨拶 (近畿地方整備局長)
- ・協議会の設立趣旨及び規約の確認
- ・淀川舟運の現状について (意見交換)
- ・今後の進め方について
- ・閉会挨拶 (近畿運輸局長)



○協議会構成員

※ () 書きは今回代理出席

国土交通省	近畿地方整備局長
	近畿運輸局長(近畿運輸局次長)
沿川自治体	大阪府知事(副知事)
	京都府知事(建設交通部長)
	大阪市長(副市長)
	高槻市長(技監)
	守口市長(企画課長)
	枚方市長(理事)
	寝屋川市長(企画三課長)
	摂津市長
	島本町長
	京都市長(建設局防災減災・公園利活用担当局長)
宇治市長(理事)	
八幡市長(政策推進部次長)	
久御山町長	
経済団体	公益社団法人 関西経済連合会会長 (産業部担当部長)
	大阪商工会議所会頭 (地域振興部地域振興担当兼万博協力推進室課長)
舟運事業者	水都大阪コンソーシアム委員長(事務局長)
	特定非営利活動法人 大阪水上安全協会会長
鉄道事業者	京阪ホールディングス株式会社 代表取締役社長
	阪急電鉄株式会社 代表取締役社長 (上席常務取締役都市交通事業本部長)



整備局長開会挨拶



意見交換の様子(摂津市、京阪HD)



運輸局長閉会挨拶



構成員からいただいた主なご意見

- 大阪府 : 万博だけでなくIRもある。夢洲に来た人が上流域含め色々なところに広がっていくような役割を舟運に期待したい。
- 京都府 : 宇治川沿川市町にはお茶や桜などの観光資源があり、大きな期待を寄せている。大きな船の航行に向け協力頂きたい。
- 大阪市 : 万博後も含めてどういうことをやっていくか行程表をつくり、関西活性化のために舟運をどう使うのか考えていきたい。
- 摂津市 : 上流と上手く繋がらないと淀川大堰閘門の意義がない。これまで淀川と共にあった上流と下流のマッチングが重要。
- 久御山町 : 地域の企業も舟運に期待。久御山町にも是非、船着場整備をお願いしたい。右岸側には京都競馬場もあり、夢が膨らむ。
- 水都大阪 : 淀川大堰閘門ができれば、淀川と水の回廊が繋がって万博に向けて弾みがつく。どう連携できるか考えていきたい。
- 水安協 : 技術的な部分、安全面ではたくさん知見があるので、是非協力していきたい。
- 京阪HD : 河川舟運は事業としてのハードルが高いことは実感。毛馬閘門から上流は景色に変化がなく、船に楽しみが必要。
- 阪急電鉄 : アクセスとアクティビティが重要。楽しい水辺をつくるのが収支改善にも繋がるのではないかと。

【問い合わせ先】

(本協議会について)

近畿地方整備局 河川部 河川計画課

〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

TEL 06-6945-6355

(淀川舟運について)

近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課

〒573-1191 枚方市新町2-2-10

TEL 072-843-2861

令和4年3月23日 淀川舟運活性化協議会設立・第1回協議会開催

令和4年5月27日 実務担当者会議（船上意見交換会）

令和4年8～10月 実務担当者会議
・社会実験の実施について検討
・万博までの目標や沿川地域のにぎわいづくりについて議論

令和4年10月8～30日 4市（宇治市・京都市・八幡市・枚方市）連携 Eポート川下りイベントを通じた社会実験を実施

令和4年12月10日 ひらかたパーク×淀川クルーズイベントの開催を通じた社会実験を実施

令和4年12月17日 淀川ナイトクルーズイベントの開催を通じた社会実験を実施

令和4年12月22日 淀川舟運活性化協議会（書面開催）
・「中間とりまとめ」をとりまとめ

今回



岩本氏の進行のもと、意見交換



船上から視察

ミズベリングディレクター・岩本氏をファシリテーターとして招き、実際の現場を確認しながら淀川舟運活性化に向けた課題等について意見交換。

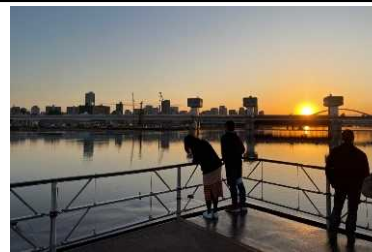


仮設栈橋から出発（伏見）



天ヶ瀬ダムを観光

仮設栈橋の設置やダムの点検放流等を地域イベント開催に合わせ実施。参加者にアンケートを行い、ニーズ・課題等を調査。



淀川のサンセット



アフタヌーンティーコースのスイーツ

ひらかたパーク入園券・クルーズ・船内飲食（アフタヌーンティーコース）をセット販売。参加者にアンケートを行い、ニーズ把握・課題等を調査。



梅田の夜景とナイトクルーズ船



船内のジャズ演奏

梅田の夜景を眺めるナイトクルーズ・船内飲食・ジャズ鑑賞をセット販売。参加者にアンケートを行い、ニーズ把握・課題等を調査。